

沖縄県気候変動適応センター（仮称）ホームページ制作業務委託企画提案仕様書

1 概要

(1) 件名

沖縄県気候変動適応センター（仮称）ホームページ制作業務

(2) 目的

世界的な課題である気候変動問題については、地球温暖化の原因である温室効果ガスを削減する緩和策とともに、気候変動影響の影響を防止・軽減する適応策を車の両輪として県全体で連携して推進していく必要がある。

本事業は、緩和策及び適応策を推進するため、気候変動適応法第13条第1項に基づく沖縄県気候変動適応センターのホームページを制作し、気候変動の現状や将来予測、必要な対策を地域住民向けに情報発信を行うことを目的とする。

(3) 契約期間

契約締結日から令和5年3月31日まで

(4) 対象コンテンツの概要

ア コンセプト

(ア) 利用者の視点に立ち、本県が用意しているメニューが俯瞰的かつ視覚的にわかりやすく伝わるものとする。また、気候変動の現状やその対策についての興味を喚起させるようなデザインとすること。

(イ) 画像を多くかつ効果的に使用し、閲覧者の視覚に訴えるものであること。また、動画の配信も行えること。

(ウ) 職員のスキルにかかわらず、容易な操作方法で情報の更新が行えるシステムを導入し、一定の完成度が保てる作りにする。

(エ) 利用者が目的の情報に早くたどりつけること。

イ 掲載内容

必要な掲載内容は下記のとおり。なお、下記以外で上記コンセプトに対応する効果的と考えられる情報があれば提案すること。

No.	名称	概要
1	トップページ	沖縄県気候変動適応センターホームページのトップページ
2	気候変動情報	県内の気候変動の現状、将来予測などに関する情報の紹介 (1) 気候変動及び気候変動影響の現状 (2) 気候変動及び気候変動影響の将来予測 (3) 県民等から情報提供された気候変動影響に関する事例 募集・紹介

3	気候変動対策	気候変動対策（緩和策、適応策）のそれぞれの意味と具体例を紹介。 (1) 気候変動対策の概要 (2) 緩和策の具体例、地域住民等が取り組める対策 (3) 適応策の具体例、地域住民等が取り組める対策 (4) 県民等から情報提供された気候変動対策（緩和策、適応策）に関する事例募集・紹介
4	気候変動適応センター	気候変動適応センターの紹介ページ (1) センターとは (2) センターの役割
5	その他	お知らせ FAQ サイトポリシー リンク集 お問い合わせ

(5) 業務内容・成果物

ア 業務内容は下記のとおり

業務	内容
デザイン・コンテンツ制作業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページデザイン作業（スマートフォン対応） ・ コンセプトの策定 ・ コンテンツ制作 ・ 補足情報収集 ・ 新規ページ制作 ・ Web マーケティング設定 ・ トップページに合わせた第 2 階層以下のテンプレート作成及びページ制作
ドメイン・SSL	ドメイン及び SSL 証明書の取得等の手続 ※ドメイン名は事前に県と調整すること
CMS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要件定義 ・ CMS インストール、設定 ・ Web サーバーの提供
コンテンツ保守	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツの軽微な修正 ・ CMS の利用及び保守管理 ・ サーバ、ドメインの利用及び保守管理
コンテンツサーバへの登録	<ul style="list-style-type: none"> ・ テスト作業 ・ コンテンツサーバへの登録
プロジェクト管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗、工程管理作業 ・ 課題管理作業、その他関連業務

イ 成果物は下記のとおり

成果物	内容
制作コンテンツ	・ コンテンツファイル一式 電子媒体（CD-R 等）のみ
各種ドキュメント類	・ デザインドキュメント一式 ・ 運用マニュアル ・ 打ち合わせ議事録 ・ 進捗報告資料 ・ 上記ドキュメントを格納した電子媒体（CD-R）一式

(6) 著作権

本業務にあたり新たに作成した著作物の著作権及び所有権は県に帰属すること。また、既存の著作物に関しては、県が当該部品を利用する場合、もしくは外部サーバにアップロードする場合は、受託者は当該著作物の権利者に対し、二次使用検討の承諾を得ること。

2 システム要件

次の要件を基本とし、業務受託後、協議の上、決定する。

(1) 基本要件

ア CMS 対応

基本としてブラウザだけで動作し、管理者及びユーザーの設定により各々の権限を付与することができる CMS (Contents Management System) により管理・更新を可能とすること。(詳細は別添 CMS 機能要件一覧のとおり)

また、Web サーバーは外部レンタルサーバー等を利用するものとし、セキュリティ対策が講じられ、日本国内の建物内に設置されていること。

イ ガイドライン対応

(7) システム画面は「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェアおよびサービス—第3部：ウェブコンテンツ (JIS X 8341-3 : 2016)」に準拠することが望ましい。

(4) Web の標準技術 (HTML Living Standard, CSS3) を遵守すること。

ウ スマートフォン・タブレット対応

パソコン以外 (スマートフォンやタブレット等) でもホームページ閲覧が可能となるようにすること。

(2) 制約事項

ア 対応ブラウザ

以下の最新ブラウザに対応すること。

- ・ Microsoft Edge
- ・ Google Chrome
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Apple Safari

イ ファイル形式

原則は、以下の形式のいずれかとする。これ以外の形式を使用する必要がある場合は、県と協議すること。

- ・ HTML 形式
- ・ Gif/Jpeg/PNG 形式
- ・ PDF 形式

ウ CGI 機能

CGI の利用が必要な場合、Perl 及び php が利用可能である。

エ 注意事項

Java アプレット及び ActiveX コントロールの利用は禁止する。

3 業務要件

次の要件を基本とし、業務受託後、協議の上、決定する。

(1) コンテンツ制作業務

ア コンセプトの策定

ホームページデザインを作成する際は、事前に以下の点について県と協議すること。

- ・ デザインのテーマ、キーワード
- ・ メニュー構成概要
- ・ 色合い、雰囲気
- ・ ユーザビリティ（操作性）の方針
- ・ 利用するオーサリングツール
- ・ 全体的なデザイン方針

イ ホームページデザインの制作

デザイン制作の際は、事前に以下の点について県と協議すること。

- ・ サイトマップ（または画面遷移図）
- ・ ユーザーインターフェース（操作方法、イメージ等を記載したもの）
- ・ 素材（写真、イラスト等）、原稿の確認

ウ ページ制作

(7) ページデザインに基づき、各ページを作成する。

(1) コンテンツ構築に使用する原稿は、現行ホームページのコンテンツ及び受託者から貸与された関連資料をベースに県と協議の上、決定する。

また、画像素材は可能な限り県から提供するが、不足分は受託者にて入手すること。

エ 留意事項

制作にあたっては、より魅力的かつ分かりやすいホームページとするため次の点に重点を置くこと。

(7) ユーザビリティ等への配慮

利用者の視点に立ち、ユーザビリティやアクセシビリティに配慮し、誰にもわかりやすく使いやすいホームページを構築する。

(1) 迅速な情報発信機能等の構築

利用者に対して伝えたい情報を即座に、かつ分かりやすく発信できる機能や仕組みを作る。

(2) CMS 機能要件

CMS 機能要件一覧（別添）に示すサービスレベルを満たすこと。

(3) プロジェクト管理業務

前述の「(1) コンテンツ制作業務」及び「(2) CMS 機能要件」の工程実施期間においては、定期的に進捗状況を報告すること。

また、打ち合わせ等で発生した疑義事項等については解決方法及びその結果を一覧表かして課題管理表として提出すること。

4 システム非機能要件

次の要件を基本とし、業務受託後、協議の上、決定する。

(1) 機器

以下の機器の運用を想定すること。

機器の区分	機器名	設置場所	台数	備考
端末	職員端末	沖縄県環境部 環境再生課	7台	人員増にも対応すること

(2) 情報セキュリティ要件

本システムについて「沖縄県情報セキュリティポリシー」を確実に順守すること。特に以下の対策は確実に実施すること。

ア セキュリティパッチ

- ・システム専用のサーバ・パソコンを導入する場合、搭載する OS を含む各種ソフトウェアについて、セキュリティ脆弱性に関する情報に注意し、最新のセキュリティパッチを適用するよう運用設計すること。
- ・セキュリティパッチを適用することにより、他のソフトウェアが不正動作を行わないよう事前の検討または検証を行うこと。

イ ウィルス対策

- ・システム専用のサーバ・パソコンを導入する場合、ウィルス対策ソフトを導入すること。
- ・運用時は最新のパターンファイルを適用し、定期的なスキャンとあわせて確認管理を実施すること。

ウ アクセスポイント接続

- ・HTTP または Transport Layer Security (SSL/TLS) を介して、アクセスポイントに接続できること。

エ 公開サーバを含むシステムについて

公開サーバを含むシステムは、特に厳重なセキュリティ対策を考慮し、以下について検討を行い対応すること。

- ・アプリケーションやソフトウェアの脆弱性対策として、脆弱性情報を収集し、ソフトウェアのアップデート対応を行う保守体制を確立すること。
- ・侵入検知または侵入防御サービスを実施すること。
- ・サーバに侵入されホームページ等のデータが改ざんされた際に、その発生を検知し、通知する改ざん検知システムの導入を検討すること。
- ・ログファイルの改ざん防止のため、総合ログシステムの導入を検討すること。

(3) 信頼性等要件

ア 信頼性要件

- ・CMS 機能要件一覧（別添）に示す、サービスレベルを満たすこと。
- ・障害の発生を未然に防止又は速やかに発見できる機能を有すること。
- ・停電、落電等におけるシステム障害を回避するため安全にシャットダウンできる無停電電源装置を備えた構成であること。

イ 事業継続性要件

- ・震災等の非常時においては別途協議の上対策を立案し、可能な限り早期にシステムを復旧すること。

(4) 運用要件

ホームページに係る運用管理は、その実施方法、費用（月・年間）を具体的に提案する

こと。

ア システム稼働・監視等要件

- ・CMS 機能要件一覧（別添）に示すサービスレベルを満たすこと。
- ・本ホームページの運用時間は、24 時間 365 日とする。
- ・障害が発生した際には、担当者に即座に通知する機能を保持すること。

イ データ管理要件

- ・本システムで扱うすべてのデータの保全が実施できる体制であること。
- ・データの焼失を防ぐため、定期的にバックアップを行う機能を有すること。
- ・バックアップしたデータを速やかにリストアできる機能を有すること。

(5) 保守要件

ホームページに係る保守管理は、その実施方法、費用（月・年間）を具体的に提案すること。

- ・CMS 機能要件一覧（別添）に示すサービスレベルを満たすこと。
- ・保守手引書及び連絡体制図を本県に提出するとともに、通常運用を円滑に行うための保守（点検及び障害復旧等を含む。）体制を確保すること。
- ・保守対応時間は、土曜、日曜、祝日及び年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）を除く、平日の 9 時 00 分から 17 時 00 分とすること。ただし、緊急を要する場合の対応については、本県と協議の上対応すること。
- ・本県からの情報伝達方法は、電話及びメールとし、それらを受け環境を整備すること。
- ・本システムの故障もしくは障害が発生したときには、いかなる事象においても一時切り分けを速やかに実施し、関係各所（本県やハードウェア、ソフトウェアの保守業者等を指す。）へのエスカレーション対応を実施すること。

ア ソフトウェア保守

- ・システムの機能的な不具合の修正を保守の対象とすること。
- ・不具合が発生して 3 日以内に修正対象の特定と修正計画を立てること。
- ・ソフトウェアの導入は、原則、夜間もしくは休日等の利用時間に実施すること。
- ・本システムを構成するソフトウェアに対して、セキュリティホール及びバージョンアップ情報が公開された場合、速やかに本県へ報告し対応すること。

イ ハードウェア保守

- ・故障箇所がハードウェアであった時には、現状の機器もしくは同等以上の能力を有する機器（部品交換を含む）を用意し、速やかに復旧対応すること。
- ・本システムを構成するハードウェアに対して、セキュリティホール及びバージョンアップ情報等が公開された場合、速やかに本県へ報告し対応すること。

(6) ハードウェア構成

ア 端末

- ・ 端末は以下の要件で動作すること。

項目	要件
OS	Windows10 以降の OS
CPU	Celeron1.6GHz 以上
メインメモリー	1Gbyte 以上
ウェブブラウザ	Microsoft Edge Google Chrome Mozilla Firefox Apple Safari } 最新版

イ サーバ

- ・ サーバは 4 (2) から 4 (5) が保証されるサーバを使用すること。

5 実施スケジュール

本業務は、次スケジュールのとおり、令和 4 年 12 月にホームページの試験運用を開始し、その後、コンテンツやページの修正・追加等を行い、令和 5 年 3 月にホームページを完成することを想定している。

なお、ホームページの試験運用の開始年月日等については、協議の上、決定する。

	R4. 8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1~3
契約～業務計画	→	→				
コンセプトの策定		→→				
コンテンツデザイン		→→	→→→			
コンテンツ制作			→→	→→→		
コンテンツサーバへの登録				→→	→	
試験運用・最終納品					→→→ 公開	→ → → 試験運用 ～ 最終納品

(別添)

沖縄県気候変動適応センター（仮称）ホームページ制作業務
CMS 機能要件一覧

機能要件		詳細
基本機能	1	HTML 言語を意識することなく、一般的なワープロソフトに近い操作性によりコンテンツを編集できること。また、イベント情報等、定型な情報は、定型フォームを利用する等、状況に応じてテンプレートが、容易に設定（利用）できること。
	2	コンテンツの公開イメージのプレビュー表示や印刷が、容易にできること。また、関連リンクも含めた公開時と同じ状態のサイト全体のイメージのプレビュー表示や各ページの印刷が、容易にできること。
	3	Word・Excel で作成した文章・表を、「コピー&ペースト」により転用でき、その際、アプリケーション固有のタグは容易に削除できること。また、固有タグを排除したデータへの見出しの設定等が、CMS 上で容易に編集できること。
	4	別途作成した HTML を、「コピー&ペースト」により転用でき、その際、生成される不要なタグや非推奨タグが容易に削除できること。
	5	同名の HTML や画像、PDF 等を作成しようとする場合、上書きに関する注意を喚起する警告を表示し、スムーズに修正ができること。
アクセシビリティ機能	6	「JIS X8341-3 :2016」に準拠し、最低限「等級 AA」の達成基準を満たし、可能な限り「等級 AAA」の達成基準を満たすこと。
	7	文字サイズ、背景色を閲覧者が簡単に変更できること。
トップページのデザイン	8	管理者が、トップページのデザイン、コンテンツの配置及びアイコン・画像等について、容易に変更できること。（html 言語での編集が可能であること。）
	9	指定する位置に、バナー広告を表示できること。なお、管理者が、バナー広告の表示数を容易に変更できること。
	10	バナー広告の掲載順序は、管理者による容易な手動設定入れ替えができること。
	11	更新した情報を、日付降順により、カテゴリページ内等、トップページ以外にも容易に表示できること。
	12	サイトの利用ガイド・著作権・セキュリティ・免責事項・個人情報利用規定等の情報を、容易に掲載できること。
	13	管理者が選択した情報を、「新着情報」等としてトップページに容易に表示できること。なお、「新着情報」等の表示件数を容易に変更できること。
2 階層以下のデザイン	14	新着情報への掲載時にタイトルと共に、一定期間 NEW マークを自動で表示すること。
	15	各ページには、グローバルナビゲーション・ローカルナビゲーション（階層リンク）、パンくずリスト、タイトル情報等を必ず配置できること。
	16	各ページの指定する位置に、バナー広告を表示できること。なお、管理者が、バナー広告の表示数を容易に変更できること。
サイトマップ	17	各ページのバナー広告の掲載順序は、管理者による容易な手動設定入れ替えができること。
	18	閲覧者が、サイト全体の構成を容易に理解できるサイトマップを自動生成すること。
検索エンジン	19	フリーワード検索（全文検索）、絞り込み、and/or 等の検索機能を有し、サイト内の検索ができること。（Google カスタム検索可）
	20	検索結果をサイト・カテゴリ・FAQ 等区分して表示できること。（Google カスタム検索の絞り込みラベル等のイメージ）

機能要件		詳細
キーワード	21	コンテンツに、検索用キーワードを容易に設定できること。
表	22	HTML の知識がない職員でも、簡単な操作で表が作成できること。また、作成した表の幅や高さ等の調整が容易にできること。
添付ファイル等	23	添付のファイル等をブラウザ上から容易に CMS サーバにアップロードし添付できること。
	24	添付ファイル等のファイル名チェック機能を有すること。CMS に取り込めないファイル名の場合不適切なファイル名の例（「日本語は使用できません」等）を警告表示し修正を促し、適切なファイル名以外は保存ができないこと。
	25	添付ファイル等をリンクとして取り込んだ場合、自動的にファイル形式をアイコン等（文字列も含む）で表示し、あわせてファイル容量を表示すること。なお、添付ファイルの場合は、Adobe Reader 最新版ダウンロードサイトへのリンクも自動的に表示すること。
画像ファイル	26	画像ファイルをブラウザ上から容易に CMS サーバにアップロードし表示設定ができること。
	27	画像ファイルのファイル名チェック機能を有すること。CMS に取り込めないファイル名の場合、不適切なファイル名の例（「日本語は使用できません」等）を警告表示し修正を促し、適切なファイル名以外は保存できないこと。
	28	インライン挿入（特定の座標位置ではなく文字と文字の間に画像を挿入）及び表示サイズ、表示位置の指定が容易にできること。
	29	画像をアップロードする際に、容易にリサイズできること。
バナー広告	30	バナー広告の画像データは、JPG・GIF（透過 GIF 及びアニメーション GIF）・PNG が使用できること。
	31	管理者が容易に、バナー広告の画像・URL・掲載期間・掲載場所を指定して登録できること。なお、掲載期間の登録により、自動的に掲載の開始・終了ができること。
リンク	32	内部及び外部リンクが容易に設定できること。
	33	外部リンクは、別ウィンドウで開くように容易に指定できること。
コンテンツの再利用	34	CMS に保存されているコンテンツを、容易に複製し、再利用できること。
コンテンツの公開・公開終了	35	管理者がすべてのコンテンツについて、承認フローによらず、容易に即時公開・停止・削除できること。
	36	コンテンツを未来日付で公開する場合、現在のコンテンツを直接編集し、公開開始日時を設定することで予定の日時に自動投稿できること。
	37	各ページに、公開日もしくは最終更新日を自動的に表示すること。
カテゴリ	38	管理者が容易にカテゴリを追加・変更・削除できること。なお、変更した内容は、サイトマップ、カテゴリ・インデックス、ローカルナビゲーション、パンくずリストに自動的に反映すること。
	39	コンテンツ作成時に、登録されたカテゴリの中から選択することで、カテゴリを容易に登録できること。なお、1つのコンテンツについて、複数のカテゴリが容易に設定できること。
	40	作成済みのコンテンツを、別のカテゴリに容易に移動できること。
ナビゲーション	41	すべてのページに、共通して「ページトップに戻る」「前のページに戻る」「トップページに戻る」等のリンクを設定し、統一された所定の位置にリンクボタンを表示すること。
スマートフォンおよびタブレット端末版 Web サイト管理機能	42	PC 版 Web サイト用コンテンツ作成と同時に、スマートフォンおよびタブレット端末版 Web サイト用コンテンツの自動作成が容易にできること。
	43	専門知識を持たない職員でも、スマートフォンおよびタブレット端末版 Web サイト用コンテンツが容易に作成できること。
	44	コンテンツの公開イメージを容易にプレビュー表示し、そのイメージを印刷できること。
	45	地図コンテンツ画像を容易に作成し、表示設定できること。
	46	スマートフォンおよびタブレット端末版 Web サイト内の検索機能を有すること。
	47	PC 版と同様の問合せフォーム機能を有すること。
FAQ 機能	48	テンプレートを用いて、カテゴリ別表示が可能な FAQ ページを容易に作成できること。なお、随時、FAQ 項目の追加・更新・削除が容易にできること。
	49	FAQ には、関連リンクや問合せ先を容易に設定できること。
	50	閲覧者が、カテゴリから FAQ を容易に探すことができること。

機能要件		詳細
動画配信機能	51	様々なサイズやファイル形式で、動画の登録・配信が容易に行えること。なお、YouTube 等の動画配信の外部サイトを利用することも可とする。
その他	52	RSS 等を自動生成するコンテンツを容易に設定（追加・削除を含む）できること。
	53	CMS 編集画面上に、オンライン操作マニュアルを表示させること。
	54	IPv 6 に対応していること。
	55	CMS サーバは一般の利用者からアクセスできないよう、グローバル IP アドレスでの制御等を行うこと。
	56	一般インターネット回線を利用することとし、ID・パスワード認証でログインを行うこと。
	57	CMS パッケージソフトは、すでに他自治体での導入実績があること。
	58	閲覧者の PC における OS やブラウザ等利用環境に依存することなく、概ねすべての環境から同等の階層構造やレイアウトが崩れることなく快適に閲覧できるような仕組みとすること。
	59	CMS に登録されたデータベース及びコンテンツは毎日自動バックアップすること。
	60	障害発生時には、バックアップデータ等から速やかに復旧措置が行えるよう方策を講じること。また、障害発生時の問い合わせ窓口及び対応は、24 時間 365 日体制とすること。
	61	システムに脆弱性が発覚した場合やセキュリティパッチの導入、不可避なアップグレード等が必要となった場合は、速やかに修正作業を保守業務範囲内で実施すること。
62	サイバー攻撃等が発生した場合や予見される場合は、ログの収集・解析を実施すること。	
SEO 対策	63	HTML Living Standard, CSS3 で記述されていること。
	64	URL の正規化（www や index の有無）がされていること。
	65	Canonical が正しく設定され、URL の正規化がされていること。
	66	スマートフォンサイトが PC サイトと別 URL である場合、モバイルリンクディスカバリーが設定されていること。
	67	title の文字数は検索エンジンが推奨する設定であること。
	68	対策キーワードが、title・h1～h6 まで正しく設定されていること。
	69	CSS や Javascript は外部ファイル化され、HTML 構造がシンプルで検索エンジン対策がなされていること。
	70	ファイルサイズの軽減やサーバーチューニングを施すこと。
	71	対策キーワードがページ上部で正しく記述され、オーガニックサーチ・指名検索で上位表示されること。
	72	meta・strong・alt など、検索順位に影響する設定は正しく記述すること。
73	HTTP ステータスコード 404 ページを正しく設置していること。	
74	内部リンクやフッターリンクの過剰設置など、検索順位にマイナスとなる要因は設計回避すること。	
設定	75	GoogleAnalytics（以下 GA）を導入し、全ページのログを解析できるように基本設定・フィルタ設定・コンバージョン設定を行うこと。
	76	GoogleSearchConsole（以下 GSC）を導入し、検索トラフィックを監視設定すること。
	77	GSC サイトマップ登録では、自動生成される xml ファイルを登録し、正しくインデックスされていること。
構造	78	GSC「HTML 改善」において、エラーが発生した場合、速やかに対処・解決すること。
	79	GSC「モバイルユーザビリティ」において、エラーが発生した場合、速やかに対処・解決すること。
	80	W3C 統合検証サービスを用いて HTML・CSS の構文チェックを受け、エラーが発生した場合は適切な処置を行うこと。
	81	CMS 専用 URL の noindex 設定を正しく行っていること。
UX/UI	82	O2O 促進を意図するページには SNS ボタンを設置し、情報拡散を図ること。また、ボタン設置後においても読み込み速度はユーザーがストレスを感じない 1 秒以内で閲覧できる状態であること。
	83	コンテンツサイズ・配色ルール・Web フォントなど、ユーザビリティに配慮した UI 設計書に従い、レイアウト設計・デザイン・HTML 構造を行うこと。